

事務事業名 小中学校情報教育推進事業費

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	1	特色ある教育活動の推進
主要な施策	4	情報機器の効果的な活用
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 12 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	パソコン等の情報通信機器を小中学校等に配置し、授業・校務等において積極的に活用することにより、情報化社会の中で、様々な情報を主体的に選択・活用することができる能力を育むことを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>パソコン等の情報通信機器を小中学校等に配置し、授業・校務等において積極的に活用することで、情報教育の推進及び校務の効率化を図った。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン設置台数 小学校 200台 中学校 205台 学校事務 14台 教員用 280台 学校図書館 14台 教育委員会 3台 計 716台
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	家庭においてパソコン等の情報通信機器を有しない子どもたちにとっては、情報通信技術（IT）に触れる貴重な機会であり、子どもたちへの情報教育は欠くことのできない教育であることから、情報教育の推進及び充実に努める。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	36,949	20,663	17,899	17,899	17,899
事業費 合計			36,949	20,663	17,899	17,899	17,899

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	小学校パソコン台数	台	目標値	200	200	200	200	200
			実績値	200	200			
	中学校パソコン台数	台	目標値	205	205	205	205	205
			実績値	205	205			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>パソコン等の情報通信機器を小中学校等に配置し、授業・校務等において積極的に活用することにより、情報化社会の中で、様々な情報を主体的に選択・活用することができる能力を育むことに努めている。</p>	<p>家庭においてパソコン等の情報通信機器を有しない子どもたちにとっては、情報通信技術（IT）に触れる貴重な機会であり、子どもたちへの情報教育は欠くことのできない教育であることから、今後も情報教育の推進及び充実に努める。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）		《Check》
1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 家庭において情報機器を有しない子どもたちにとっては、情報機器に触れる貴重な機会である。また、ITネットワーク社会である現代において、子どもたちへの情報教育は欠くことのできない教育であることから、市が事業を行うことは妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 利用する学年の低年齢化など、情報機器を活用する時間を増やすことにより、能力の向上を目指すことができる。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 ウィルスソフトの一本化、一括購入など、コスト削減のための取組を進めているが、情報機器のリースに要する経費等は削減を見込める経費ではなく、必要最低限の経費で実施している。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 各学校において、パソコン等の情報機器を活用した取り組みが見られ、情報教育が浸透しつつある。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価		《Check》
維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	ITネットワーク社会に生きる子どもたちに、必要な資質を養う事業として重要である。

行政評価会議による評価		《Check》
維持	備考	